

## 採択事業の事例集

<b>事業名</b>	やよい農産物の安全・安心PR事業
<b>事業者名</b>	弥生販売物出荷協議会
<b>実施地域</b>	弥生
<b>事業目的</b>	新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少する中、出荷商品の紹介と生産者の情報シールを貼付けし、消費者の安全・安心感と出荷者の責任感を醸成し、売上向上を図り、地域経済の活性化につなげたい。販売促進イベントの開催時に出荷者が統一ユニフォームを着用し、お客様との混在を避けるとともにPRIにつなげる。
<b>事業内容</b>	ラベルプリンターにて顔写真とQRコード入りのラベルを作成し、お客様に弥生産野菜の安全・安心のPRをした。また、弥生販売物出荷協議会の会員に統一ユニフォーム、帽子、名札を購入しイベント時や出荷時に着用して活動、さらに出荷協議会PRチラシを作成し配布した。
<b>写 真</b>	
<b>事業名</b>	「コロナに負けない！ごまだしを通じて、漁村活性化に貢献する」
<b>事業者名</b>	合同会社漁村女性グループめばる
<b>実施地域</b>	鶴見
<b>事業目的</b>	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、飲食店が休業することにより、市場から魚を仕入れる機会が減り、市場の魚価が下落している状況である。このような状況の中、佐伯鶴見で揚がった魚を中心に仕入、ごまだし等を作り、全国に販売。また、魚食普及を通じて、魚の付加価値向上に貢献したい。
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工場における衛生管理のハード面・ソフト面の改善</li> <li>・新商品開発及び新規取引先の拡大</li> <li>・魚職普及活動の実施</li> </ul>
<b>写 真</b>	

## 採択事業の事例集

<b>事業名</b>	はたんだ森道づくりプロジェクト
<b>事業者名</b>	はたんだ2020森道づくり委員会
<b>実施地域</b>	蒲江
<b>事業目的</b>	蒲江畑野浦地区において生産性が低く放置・荒廃傾向にある地区山林を住民が自主管理することを目的に自伐型林業の手法を取得して防災力(治山・津波避難地整備)を高めるとともに、急傾斜地における小規模林業家の経営生産性を検証する。
<b>事業内容</b>	周辺事業所(およそ10業者)が避難できる避難場所及び避難路を開設した。自伐型林業の講師を派遣し、地区受講生の研修を兼ねモデル林を作った。モデル林の幹線となる森道づくりのルート上の支障木を伐採し、佐伯共販所に排出し採算性を検証した。
<b>写 真</b>	
<b>事業名</b>	青山生活交流拠点整備事業
<b>事業者名</b>	青山を実り豊かにする会
<b>実施地域</b>	佐伯
<b>事業目的</b>	青山地区公民館を中心とした生活交流基盤を整理し、買い物弱者対策、高齢者・独居者への食事支援を行う。
<b>事業内容</b>	ピンコロ軒での地区の特産品・日用品の小売店舗機能の整備、オーガニックカフェ「てら・ぷれた」での有機農業の推進・支援、配食サービスにより高齢者・独居者への食事支援を行った。
<b>写 真</b>	